



陽子の道政だより

61

2014年秋号

発行 平出陽子後援会

連絡先／函館市中島町2-8
北教組函館支部内
(☎33-5080)

道議会議員定数 違憲解消 地域の願いを政治に反映させるために！

北海道議会議員 平出陽子

函館地方にも初雪が降り、本格的な冬の到来も間近です。

第三回定例道議会で、議員定数を削減する条例案が可決されました。一票の格差を解消するためですが、この三増六減案でも、人口の多い大都市圏と、郡部地域での格差が生じているのが現状です。広大な北海道の地域では、抱える課題について地域の声をいかに反映させるのかも、私は議会の果たす役割だと考えていますので、今後の議論の中で意見反映していきたいと思います。

私は、これまで教育福祉の充実、男女平等政策の実現を掲げて議会や地域活動をしてきました。この四年間は安倍政権が打ち出す政策により、道議会においても私が貫いてきた「安全・安心社会の実現」・「平和な社会の実現」・「男女平等参画社会の実現」が脅かされ、そうになっている危機感を感じています。地域の願いである誰もが安心して暮らせる政策・制度や、次代を担う子ども達に平和な社会を引き継ぎ、未来に夢と希望を持ってる環境をつくることは、道民の願いであり、大人の責務もあります。

安倍政権の「経済政策」は、私たちの命や暮らしよりも、一部大企業の利益に傾いている気がしてなりません。原発再稼働容認や、特定秘密保護法制定、集団的自衛権行使容認の閣議決定などを契機に、必要な社会保障制度の予算の充実よりも、防衛費拡大をすすめ、文科省においても、子どもの教育予算の充実よりも、「もんじゅ」研究開発など原子力関係予算の拡充をすすめようとしている



北海道女性議員協議会総会が渡島管内で開催！

一九五一年設立の北海道女性議員協議会（会長・平出陽子）総会は、今年で六十二回を数え七飯町で開催しました。この会は、全道の超党派地方自治体女性議員二五〇余名で構成されています。

一日目の総会では、参加女性議員から提出された議案を審議し、全員一致の会則から議論を重ね、七本が可決され、関係機関への要望事項として決定しました。

- 子ども・子育て支援策の充実・強化を求める要望
- 高齢者の福祉向上のため地域の実情に応じた支援を求める要望
- 子宮頸がんワクチン接種の対策を求める要望
- 特定秘密保護法の執行停止と撤廃を求める要望
- 大間原発建設の無期限凍結を求める要望
- 医療・介護総合確保推進法の撤回を求める要望
- 光回線による超高速情報インフラ未整備地域の解消を求める要望



▲七飯町開催の北海道女性議員協議会総会で、函館市議会提出の「大間原発建設の無期限凍結を求める要望」他が可決
—函館新聞提供—

るのが現実です。
戦争への道をまっしぐらに進む安倍政権に、「NO！」とつきつけるために、来春の地方議会選挙に勝利しなければなりません。安全・安心社会の実現、子ども貧困・格差是正、男女平等参画社会推進のために、「教え子を再び戦場に送らない。」ために、引き続き活動してまいりますので、皆様の更なるご指導をお願い申し上げます。

納涼ビアパーティー（8月）



で見る
陽子の
道政日記



あとがき

安倍政権が経済政策の成長戦略として「女性活躍」を打ち出しました。経済政策の一つとして、女性の登用というのがキーワードです。この成長戦略は、労働者としての人材確保に向けての政策であり、男性並みの働き方を女性にも強いるもので、「女性が輝く社会」というキャッチフレーズは、聞こえがよいよう思います。が、何とも怪しいもので。非正規雇用者の7割が女性という実態を放置し、競争原理で女性の社会進出を男性並に引き上げるとすれば、自己責任による格差社会がまた大きくなります。誰もが安心・安全で豊かな暮らしができるための育児環境や労働環境などの諸条件の改善を政策としてすすめることが必要ではないでしょうか。国益の為だけの「女性活用」に対しても、女性も男性も真っ向から批判し声を上げなければなりません。

開催案内の街宣活動▶

